

隠岐地区建設業協会・隠岐支庁技術職員 合同研修会の開催

開催日 平成 30 年 1 月 24 日（水）

目的 ・発注者と受注者の円滑なコミュニケーションの確保

※隠岐県土の特徴：監督員は若手職員が中心なのに対して、現場代理人は中堅クラス以上が中心

- ・現場代理人等の現場実務の技能向上【CPDS プログラムとして実施】
- ・若手職員の技術力向上

出席者 隠岐支庁県土整備局・水産局職員（若手中心） 26名  
 隠岐地区建設業協会 39名

研修会内容

プログラム① 技術専門監による講義（1 時間程度）

- ・施工関係提出書類の留意点
- ・発注者と受注者のコミュニケーション（三者会議・ワンデーレスポンス・段階確認）
- ・建設工事における安全衛生対策

プログラム② 発注者・受注者合同でのグループ討議と発表（1 時間程度）

- ・設計、工事等の不適切事例を題材に、発生要因、再発の防止策等についてグループ討議、発表

参加者感想

（発注者）

- ・受注者と発注者でコミュニケーションを取るいい機会になった。今後、現場を進めていく際にコミュニケーションを取り、より良いものを造っていきたい
- ・施工業者と合同研修というのは初めてで、とても新鮮に感じた。特にグループワークでは、現場の視点からの意見を聞くことができ、とても勉強になった

（受注者）

- ・グループ討議がよかった。実際の工事においても研修会のような話をしながら協議ができたらしい
- ・他の会社の現場代理人と意見交換しながら討議することはなかなか無いことなので、勉強になった

【技術専門監による講義】



【発注者・受注者合同グループ討議】

